



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2007年 7月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

会報

財団法人日本太鼓連盟創立 10 周年記念 日本太鼓フェスティバル

5月5日(土・祝)今年で創立10周年を迎えることを記念して「財団創立10周年記念日本太鼓フェスティバル」が開催されました。当日は五月晴れの青空の下、船の科学館(東京都品川区)前庭に舞台が設置されました。午前11時、財団を代表して、塩見理事長が挨拶した後、小口副会長による初っ切り太鼓が披露され、フェスティバルが始まりました。全国24都府県から集まった31チームが、途切れることなく次々に演奏を披露し、演奏の合間にはつなぎ太鼓が披露されました。午後4時まで続いた演奏に延べ2,000名のお客様が訪れ、拍手が絶えることはありませんでした。中には4月14・15日(土日)成田太鼓祭りで配布したチラシを見て訪れた熱心なお客様もいらっしゃいました。当日は、当財団役員と太鼓関係者を始めとして、競艇関係者、日本財団関係者等、多くの方々にご来場いただきました。また、能登半島地震の被災者のための募金箱も用意さ

れ、皆様のご好意で150,000円が集まりました。また、会場テント内では、浅野太鼓の協力による太鼓の製作体験コーナーが設けられたほか、財団が実施した10年間の事業がパネルで紹介されました。

最後は塩見理事長の音頭で、全員による手締めで締めくくり、フェスティバルは盛況裡に終了しました。ご出演、ご来場頂いた皆様には心より感謝申し上げます。

その後4階マリンホールにてレセプションが行われ、本年度で音楽活動60年の節目を迎えられた小口副会長に、感謝状と記念品が手渡されました。また邦楽アカデミー和太鼓大元組、大江戸助六太鼓、御諏訪太鼓保存会による祝い太鼓も披露されました。

10周年を迎え、(財)日本太鼓連盟は、今後ますます日本太鼓の普及・発展に努めていく所存です。

[左より演奏順 1 → 2 → 3 以下同]



宮城県太鼓連絡協議会(宮城県)



和太鼓琉翔(千葉県)



邦楽アカデミー和太鼓大元組(東京都)



上州藤岡上杉管領太鼓(群馬県)



鹿島天平太鼓保存会(石川県)



天馬太鼓(埼玉県)



相模龍王太鼓保存会(神奈川県)



鯨龍太鼓(愛知県)



五竜太鼓保存会(静岡県)



糸口太鼓 (大分県)



和太鼓 結 (京都府)



大曲太鼓道場 (秋田県)



石見あらがね太鼓 (島根県)



龍潮太鼓いろは隊 (宮崎県)



不知火太鼓 (佐賀県)



下館若囃太鼓会 (茨城県)



鬼神太鼓 (広島県)



岐阜神代響太鼓 (岐阜県)



川筋太鼓保存会 (福岡県)



岩舟武蔵太鼓 (栃木県)



愛宕陣太鼓連響風組 (福島県)



能代べらぼう太鼓 (秋田県)



はいばら太鼓保存会 (静岡県)



豊潤流ほのぼの太鼓 (千葉県)



武蔵あばれ太鼓 (埼玉県)



太鼓道場「風の会」 (山形県)



相州海老名東柏太鼓 (神奈川県)



大江戸助六太鼓 (東京都)



手取穴龍太鼓若鮎組 (石川県)



甲州ろうあ太鼓 (山梨県)



御諏訪太鼓保存会 (長野県)



手締め



レセプション

メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンの共催を得て 第11回日本太鼓チャリティコンサートを開催



6月8日（金）、第11回日本太鼓チャリティコンサートを草月ホール(東京都港区)で開催いたしました。

このコンサートは日本財団の助成事業として行われ、今回はメイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンの共催を得て、実施いたしました。メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンは難病とたたかっている子供たちの夢をかなえ、生きる力や病気と闘う勇気を持ってもらいたいと願って設立されたボランティア団体です。そのため、本年は第9回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チームを含め、全てジュニアチームが出演しました。

当日は各国の在日大使、政・官・財界及び各分野で活躍されている約300名の方々にご出席頂きました。

開演に先立ち、主催者を代表して塩見和子理事長、共催者を代表してメイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン大野寿子事務局長よりご挨拶の後、ジュニアチーム7団体による演奏が行われました。

まず、「邦楽アカデミー 和太鼓 大元組」が東京音頭を取り入れた演奏で観客席を沸かせます。続いて本年3月に開催した第9回日本太鼓ジュニアコンクール第3位・京都商工会議所賞を受賞した「九谷太鼓 若獅子組」が九谷焼きのふるさとに伝わる伝統の太鼓を力強く披露しました。そして宮崎県延岡市から「龍潮太鼓いろは隊」が能面を付けての演奏を披露。音だけでなく、視覚的にも観る側を圧倒していました。続いて同ジュニアコンクール第2位・文部科学大臣賞・京都市長賞を受賞した「岩代國郡山うねめ太鼓保存会 小若組」が、「楽しく元気よ

く」のモットー通り元気で迫力のある演奏を披露、さらに「尾張新次郎太鼓保存会」が江戸時代より伝わる神楽太鼓を演奏しました。続いて「高野右吉と秩父社中」が無形文化財秩父屋台囃子の演奏を見事に披露しました。

最後は、本年ジュニアコンクール優勝チーム「おおむら太鼓連くじら太鼓」がフィナーレを飾りました。子供達の真剣な表情と迫力に、観客の皆様から惜しめない拍手が沸き起こりました。幼い子供達は、小さな手で精一杯の演奏を、年長者は、まとめ役としてチームを支える頑張りを見せていました。ご来場いただいたお客様からは、子供達のひたむきで熱意あふれる演奏に、感動したという声が多く寄せられました。

コンサート終了後には、帰路に着くお客様のために全団体が通路に並び、会場出口では「邦楽アカデミー 和太鼓 大元組」が演奏でお見送りしました。

また、当日会場にはメイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンの活動内容を紹介するパネルが展示されました。難病と戦いながらも、「ディズニーランドに行きたい」「野球選手と会いたい」といった夢が叶った子供達の笑顔が印象的でした。多くのお客様が、真剣にパネルに見入っていらっしゃいました。

皆様のご協力により、971,000円の募金が集まり、全額をメイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンに寄附することができました。難病を抱えながらも夢を抱く子供達も、太鼓を続ける子供達も、共にその輝きを失うことなく成長して欲しいと思います。ご来場頂いた皆様には心より感謝申し上げます。

＜出演団体＞ 全てジュニアチーム
邦楽アカデミー 和太鼓 大元組(東京都)
九谷太鼓 若獅子組(石川県)
龍潮太鼓 いろは隊(宮崎県)
岩代國郡山うねめ太鼓保存会 小若組(福島県)
尾張新次郎太鼓保存会(愛知県)
高野右吉と秩父社中(埼玉県)
おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎県)
*第9回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム



←(邦楽アカデミー和太鼓 大元組)

↑(展示されたパネル)

群馬で全国講習会・静岡で支部講習会を開催



(5級基本講座の様子)

<第29回日本太鼓全国講習会(群馬)>

6月30日(土)・7月1日(日)、群馬県支部主管の全国講習会を、「みかぼみらい館」(群馬県藤岡市)にて実施いたしました。地元群馬県をはじめ、全国19都府県から約150名が参加しました。

開講式は、群馬県支部を代表して上原徳夫支部長、地元群馬県と藤岡市の代表者からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶がありました。開講式では、舞台上で専門講座の模範演奏があり、受講生たちはそれぞれのすばらしい演奏に、感動した様子で見入っていました。その後は梅雨空も吹き飛ばす程、気合十分に指導を受けていました。

○基本講座 講師

総合指導	古屋 邦夫氏
3級基本講座	安江 信寿氏
4級基本講座	渡辺徳太郎氏
5級基本講座	松枝 明美氏

○専門講座 講師

秩父屋台囃子講座	高野 右吉氏(埼玉県)
大江戸助六太鼓講座	小林 正道氏(東京都)
尾張新次郎太鼓講座	安井 富氏(愛知県)

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定	21名受験	2名認定(17名合格)
2級検定	33名受験	12名認定(30名合格)
3級検定	11名受験	11名認定
4級検定	11名受験	11名認定
5級検定	33名受験	33名認定

<第34回日本太鼓支部講習会(静岡)>

7月7・8日(土日)、静岡県支部主催による支部講習会が本川根中学校(静岡県川根本町)を中心に行われ、3・4・5級基本講座に地元静岡県をはじめ、三重県等から52名が参加しました。開会式では川根本町杉山嘉英町長・静岡県支部寺田支部長より歓迎の挨拶がありました。SLとお茶で有名な川根本町に、元気いっぱい太鼓の音が響き、受講生達は休憩になると川根茶を飲んで喉を潤していました。なお、今回は障害を持った受講生もチャレンジし、5級2名、4級4名が合格しました。

○基本講座 講師

総合指導	古屋 邦夫氏
3級基本講座	安江 信寿氏
4級基本講座	若山 雷門氏
5級基本講座	松枝 明美氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級検定	6名受験	6名合格
4級検定	12名受験	12名合格
5級検定	34名受験	34名合格



(開会式で挨拶する寺田支部長)

御諏訪太鼓保存会がNHK 大河ドラマに出演 9月2日放送予定



(5月23日付 長野日報掲載
「由布姫に贈る諏訪雷
—御諏訪太鼓大河に
本物の迫力—」)



(収録中の御諏訪太鼓保存会)

今年も成田太鼓祭に参加 ～全国太鼓情報発信基地に多くのお客様～

4月14・15日(土日)、千葉県成田市において「成田太鼓祭」が開催され、昨年、一昨年に引き続き千葉県支部、千葉県太鼓連盟が主催、当財団が共催となり「全国太鼓情報発信基地」のブースを設け太鼓を広く紹介しました。財団のパネル展示、ビデオ上映のほか、5月5日の財団創立10周年記念日本太鼓フェスティバルのチラシを配布しました。2日間共に晴天に恵まれ、約3,200人の来場がありました。成田空港が近いこともあり、海外からのお客様も多く見えていました。



(活動パネルを熱心に見入るお客様)

ブラジル太鼓チーム「一心太鼓」感想文紹介

第9回日本太鼓ジュニアコンクールに出場したブラジル太鼓チーム「一心太鼓」から感想文が届きました。一部抜粋してご紹介いたします。

○村口 緒形 まさえ・エヴェリン氏(保護者)

私たち一心太鼓は、日本に行くにあたり、日本を知ること、小口先生にお会いすること、日本の有名な先生方と練習をすること等大きな期待を持っていました。それらが全員を勇気付け、練習を続ける気力を奮い立たせてくれました。新しい練習日程が決められ、父兄が集まって、渡辺先生がご指導くださった日本文化に即したユニホームなどを検討し、旅行の準備に関して長い討議が行われました。

父兄たちは新曲「喧嘩屋台」の練習だけでなく、日本の生活様式に関する指導、立派に国を代表するために、外国での適応した行動、日本語や日本の礼儀の基礎知識などを学ぶべきだとの結論に達しました。日本滞在の経験者が招かれ若者たちに講演しました。子供達の中にはより日本語を勉強しようと決意して個人授業を受ける者もありました。

またその間、子供達は一層熱心な練習に励みました。連夜の練習、週末を犠牲にすることも厭わず、試験勉強は早朝にして、それでも疲れを見せませんでした。負傷や痛みをこらえ、練習を続ける者もありました。

ジュニアコンクールに参加した際は、その組織化の見事さに衝撃を受けました。規律とその秩序正しさ、事前の準備、そしてコーディネートとボランティアの調和した働きに本当に感心しました。礼儀の正しさ、時間の厳守、演奏の妨げにならぬよう合間にのみ人の出入り、グループの準備、舞台への太鼓の据付け、また太鼓を小さな芸術品のように扱うことなど至る所に見られました。ブラジルの太鼓グループにとって、あのように多数の本物の太鼓が打ち手のために集められているということは驚くべきことでした。本当に天国のような眺めでした。またブラジル太鼓協会賞の選考のためとはいえ、出来る限り多くのチームの演奏を注意深く見ることは、とても有意義なことでした。

○吉井貴美子氏(引率者)

日本財団ビルで、笹川会長、尾形理事長、塩見理事長他皆様に迎えられました。私共にとって皆様にお会いするのは大きな光栄であり、深く感謝致しております。また私達の脳裏に刻み込まれたのは塩見

理事長と中西常務が、私共のバスが遠ざかる間、歩道で長い間手を振っておられた姿です。

今回の貴重な旅行で、一心太鼓グループは祖先の地である日本でいろいろな教訓を観察する機会がありました。隣人及び環境に対する配慮、秩序、規律、時間の厳守、責任感、厚生に対する心配り、親愛感、道徳および倫理的な価値観などはグループが賞賛し、自らも実践すべき指標となりました。

私は祖先より「可愛い子には旅をさせよ」、また「違った人々と付き合うほどのものを覚える」と学びました。今回の旅はその通りに、人々との付き合いや視野を広げるものでした。非常に有意義で内容が濃く、また楽しい日々であり、私共はいつまでも懐かしく思い起こすことでしょう。太鼓の種はまかれ、芽生え、成長し、花が咲いて実を結び、夢は実現しました。このように、好きなことをすることは自分の良いものを表し、小口先生のお言葉によれば幸福への道であるということです。人間の内にある炎が燃え上がり、周囲を照らしてより良い世界作りに貢献するということです。それが私共の使命です。一心太鼓にこの素晴らしく忘れ得ぬ機会をもらして下さいました日本財団並びに(財)日本太鼓連盟の皆様に対する深い感謝を繰り返します。神が皆様を健康、平穏と多くの幸せを以って祝福されんことを。また近いうちにお会いできることを期待しています。



療育としての日本太鼓－ 2

今回は、長野県支部諏訪聾太鼓連代表の赤羽昭二氏にご寄稿いただきました。赤羽氏は、2007年4月、聴覚障害者として初めて公認指導員3級に認定されました。地元の活動のみならず、当財団の講習会等にも積極的に参加し、受講者からは「励みになった」との声が多く寄せられています。また昨年12月には諏訪聾太鼓の15周年を記念する発表会も成功させています。太鼓との出会いからこれまでの道のりを語っていただきました。

「諏訪聾太鼓との出会い」

『聾』これは何と読むのですか？『ろう』と読み、耳が不自由ということです。知らない人が多いと聞きます。これから『諏訪聾太鼓』との出会い、また自分自身について紹介させていただきます。

私が太鼓を始めたのは、二十歳の頃友人に「一緒にどうか」と誘われ、地元の太鼓保存会の練習を見学したのが、きっかけでした。“自分に出来るのか”心配でしたが、体を感じる響きがいいと思い、楽しそう、打ってみたいという気持ちが沸いてきました。それから2年余り、地元保存会で練習を重ね、その後、県聴覚障害者協会諏訪支部創立記念大会のアトラクションとして披露したのです。1回だけではもったいないという声があり、同じ障害を持つ者とボランティアで、平成2年4月、『音の世界と関わろう』を合言葉に、現在の太鼓連を結成しました。

耳の聞こえない者にとっては、リズム感をつかむことはとても難しく、大変な時間が必要でした。模造紙に音符を書いたり、大小の丸で強弱を、左右は線の下で区別を工夫しながら、お互いのパチの動きを確認し、音を合わせていったのです。難しいと思うことばかりでしたが、メンバーの熱意に支えられ、週1回の練習を重ね、曲のレパートリーも少しずつ増やしていきました。振り返ってみれば、ろくな太鼓もないダンボールの太鼓からスタートでした。御諏訪太鼓宗家小口大八先生の御支援を頂きながら、自費での太鼓の購入等いろいろ頑張ったものだなあと自分達のことながら思います。

私達の活動も多くの方々知って頂けるようになりました。子供福祉教室や小、中学校へ招かれるようになり、子供達にとっては、障害者との初めての出会いであったり、お互いに理解を深めるきっかけになっているようです。私達も「目的を持ってチャレンジし続けてほしい」というメッセージを伝えるチャンスに恵まれています。逆に子供達の声も私達を後押ししてくれる力になっています。

老人ホームや福祉施設にも出かけて行き、おじいちゃんやおばあちゃんに大変喜ばれ、私達もとても感激しているところです。

また、阪神大震災鎮魂、広島原爆世界平和祈念太鼓にも参加し、少しでも何かの形でお役に立ちたいと考えています。地元の祭りにも毎年参加して、すべての人々が平等に楽しむことにも積極的につとめ

諏訪聾太鼓連 代表 赤羽昭二

ています。養護学校の太鼓クラブとも交流を深め、ステージ発表等の企画、出演にも力を入れています。

日本太鼓全国障害者大会にも3回参加させて頂き、全国各地のすばらしく技術の高いチームとの交流を機に、多くの刺激やヒントを与えてもらいました。

現在、太鼓を披露するだけでなく、養護学校、施設などの太鼓関係備品の充実、アルミ缶回収、手作り携帯ストラップ、キーホルダーの製作にも力を入れております。

結成以来、「より多くの人々に見て聴いてもらおう！」と走り続けてまいりました。歩みはわずかかもしれませんが、でも、私達の思いは定着しつつあると思っています。それに私達を取り巻く環境も変化してまいりました。

それと同時にメンバーの構成やかかわり方も変化しています。参加メンバーも年齢の幅が広くなり、耳の不自由な小学生と交流したいという健聴者の小学生の参加もあります。交流の深まりは、目では見えない進歩があるのではないのでしょうか。太鼓を表現手段としてではなく、伝統芸能の継承という考え方も含め、より一層頑張りたいと思っています。

小、中、養護学校等の指導が増えてきましたが、私は17年前の結成以来、打法、構え方など自己流でした。5年前に(財)日本太鼓連盟に加入し、その後講習会で、技術認定員5級に挑戦しました。資格取得にあたり、たくさんの不安がありました。兄弟太鼓保存会の方にいろいろアドバイスを頂きながら、順調に講習を重ね、今年3級公認指導員を取得することが出来ました。(財)日本太鼓連盟塩見理事長、財団関係の皆様、トップレベルの講師の皆様、講習内検定受講者、たくさんの仲間達に、応援して頂きましたこと、心より深く感謝しております。これからも、多方面の指導の機会を与えて頂けるように、さらに勉強を重ねていきたいと思っています。多くの障害者との架け橋となれば幸福だと考えております。

今まで応援して下さいました方々に感謝の気持ちを忘れることなく、メンバーと力を合わせ、太鼓を純粋に楽しみ、多くの方々との出会いを大切に、活動の場を広げていきたいと思っています。

各種会議を開催

～理事会・評議員会・運営委員会・技術委員会～

＜運営委員会・技術委員会＞

第29回運営委員会・第27回技術委員会が6月5日に開催され、次の事項が審議された。

1. 2006年度事業について
2. 2007年度事業について
- ① 2007年度事業の予定について
- ② 助成金交付事業の追加決定について
7事業について審議、承認した。
- ③ 日本太鼓ジュニアコンクールについて
ジュニアコンクール開催要領の一部変更について
開催支部の出場団体は5団体以内と定めているが、出場団体が年々増加していることに加え、予選で21団体以上が参加した支部より2団体の出場が可能となっていることなどを考慮し、開催支部からの出場枠を3団体以内とすることとした。
なお、この要領は、2008年4月1日より適用することとなるため、2008年3月開催の石川県大会は従前どおり5団体以内とする。
- ④ 日本太鼓シニアコンクールについて
開催要領の制定について承認した。
3. 日本太鼓資格認定制度について
- ① 第3期公認指導員更新研修会実施状況について、
参加状況を確認した。更新研修会に参加した指導員160名（1級32名、2級42名、3級86名）、

欠席した指導員45名（1級1名、2級9名、3級35名）

② 認定員の推移について

＜理事会・評議員会＞

第20回理事会・第19回評議員会が6月21日に開催され、次の事項が審議された。

1. 2006年度事業報告及び決算について
監査状況に関する報告があった。次いで、ジュニアコンクール参加団体へ旅費の補助、太鼓ファンドへの1億円増額、新公益法人改革に向けての新会計基準への切り替え等について補足説明があり、原案通り承認された。
2. 2006年度剰余金の業務費平衡積立金繰り入れについて、原案通り承認された。
3. 2006年度剰余金の太鼓ファンド繰り入れについて、原案通り承認された。
4. 任期満了に伴う評議員の選任について
候補者名簿を配布検討した結果、全員再任された。
5. 規程の一部改正について
 - ・ 規程3 職員給与規程及び規程9 役員給与規程
 - ・ 規程17 日本太鼓大会開催規程
 - ・ 規程18 太鼓ファンド規程及び規程19 業務費平衡積立金規程上記の規定について検討し、原案通り決定した。

事務局だより

日本太鼓助成金交付事業の追加募集の結果

6月5日第29回運営委員会において、下記7事業を追加決定いたしました。報告書受理後、助成金20万円が交付されます。

- | | | |
|-------------------|---------------------|------------------------|
| 1. 7月7・8日(土日) | 第34回日本太鼓支部講習会 | 静岡県支部 |
| 2. 7月14・15日(土日) | 第15回北陸三県子供太鼓スクール | 福井県支部 |
| 3. 7月26(木)～30日(月) | 第一期大型日・中障害者芸術展 | 鼓友夢光組
(富山・知的障害者チーム) |
| 4. 9月17日(月) | アメリカ太鼓ワークショップ | サンフランシスコ太鼓道場 |
| 5. 9月22・23日(土日) | 第37回日本太鼓支部講習会 | 北海道道西支部 |
| 6. 11月24日(土) | 第8回日本ろう者太鼓同好会 姫路公演 | 日本ろう者太鼓同好会 |
| 7. 12月16日(日) | 第2回全九州日本太鼓ジュニアコンクール | 宮崎県支部 |

★来年度（2008年）助成金交付事業募集★

助成金交付事業は、1事業助成金20万円となっております。来年度分の募集は、12月迄に、お申し込み下さい。詳細は、財団事務局までお問合せ下さい。

(財) 日本太鼓連盟 Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580 E-mail: info@nippon-taiko.or.jp

財団創立10周年記念 日本太鼓全国障害者大会開催迫る！

財団創立10周年記念 日本太鼓全国障害者大会がいよいよ迫ってきました。2007年10月7日(日) 御殿場市民会館大ホールで13:00より開催されます。障害を持つメンバーによる25の太鼓チームが集います。入場料は無料です。皆様のご来場をお待ちしております。

創立 10 周年記念 日本太鼓全国フェスティバルのお知らせ

創立 10 周年を迎える今年は、東京国際フォーラムでの開催となります。全国でも有数の 14 太鼓チームが、渾身の演奏を披露いたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

日 時 2007 年 9 月 27 日 (木) 開場 18:00 開演 18:30 終演予定 21:10
 会 場 東京国際フォーラム C ホール 東京都千代田区丸の内 3-5-1 Tel. 03-5221-9000
 主 催 (財) 日本太鼓連盟
 主 管 (財) 日本太鼓連盟関東地区協議会 (財) 日本太鼓連盟東京都支部
 協 賛 日本財団
 入 場 料 前売券 2,500 円 当日券 3,000 円 (来賓席を除き自由席)
 入場者数 1,500 名 (収容人員)
 チケット取扱 チケットぴあ Tel. 0570-02-9999/0570-02-9966 (P コード 262-886)
 6 月 20 日より販売を開始しております。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 東京都合同チーム (東京) | 8. おおむら太鼓連くじら太鼓 (長崎) |
| 2. 北海道くしろ蝦夷太鼓保存会 (北海道) | 9. 福光もちつき太鼓保存会 (富山) |
| 3. 富岳太鼓 (静岡) | 10. 八丈太鼓六人会 (東京) |
| 4. 銚子はね太鼓保存会 (千葉) | 11. 豊の国ゆふいん源流太鼓 (大分) |
| 5. 尾張新次郎太鼓保存会 (愛知) | 12. 御諏訪太鼓保存会 (長野) |
| 6. 龍・連山と和太鼓「龍」(山形) | 13. 石見神代神楽上府社中 (島根) |
| 7. 高野右吉と秩父社中 (埼玉) | 14. 手取亢龍太鼓保存会 (石川) (出演順) |

ジュニアコンクール予選、推薦の結果報告は 11 月末締め切り

2008 年 3 月 23 日 (日) 石川県白山市で第 10 回日本太鼓ジュニアコンクールが開催されます。支部事務局は 11 月末日までに予選実施報告書・出演団体推薦書・出演申込書を提出して下さい。課題曲は全チームが確定後、年内に一斉に配布致します。また予選のない地域で出場を希望される団体は、財団事務局までお問い合わせ下さい。

講習会のお知らせ

第35回日本太鼓支部講習会 (宮城県利府町) 期 日: 2007年 8月11・12日(土日) 主 催: (財) 日本太鼓連盟宮城県支部 会 場: 利府町総合体育館 * 最寄り駅: JR東北本線利府駅 講 座: 3、4、5 級基本講座 申込先: (財) 日本太鼓連盟宮城県支部 事務局長 片岡大助 〒987-0621 宮城県登米市中田町宝江黒沼字蓬原51-4 Tel. 090-2970-8342 Fax. 0220-34-2450	第36回日本太鼓支部講習会 (福岡県行橋市) 期 日: 2007年 9月15・16日(土日) 主 催: (財) 日本太鼓連盟福岡県支部 全九州太鼓連合 会 場: 行橋市民体育館他 * 最寄り駅: JR九州日豊本線行橋駅 講 座: 3、4、5 級基本講座 申込先: (財) 日本太鼓連盟福岡県支部 野本敏章 〒800-0323 福岡県京都郡荊田町与原839-1 Tel/Fax. 0930-22-0526 携帯. 090-3078-3141
第37回日本太鼓支部講習会 (北海道岩見沢市) 期 日: 2007年 9月22・23日(土日) 主 催: (財) 日本太鼓連盟北海道道西支部 会 場: 幌向総合コミュニティセンター ほっとかん * 最寄り駅: JR函館本線幌向駅 講 座: 5 級基本講座、締太鼓講座 申込先: (財) 日本太鼓連盟北海道道西支部 事務局長 秦野智徳 〒069-0373 北海道岩見沢市幌向 2 条 3-315-18 Tel. 0126-26-2825 Fax. 0126-26-3939 携帯. 080-1899-5761 E-mail: hatabow@proof.ocn.ne.jp	第38回日本太鼓支部講習会 (青森県七戸町) 期 日: 2007年10月27・28日(土日) 主 催: (財) 日本太鼓連盟青森県支部 会 場: 七戸中央公民館 * 最寄り駅: JR東北本線七戸駅 講 座: 4、5 級基本講座 申込先: (財) 日本太鼓連盟青森県支部 事務局長 山内健逸 〒038-1311 青森県青森市浪岡大字浪岡字岡田 5-22 Tel/Fax. 0172-62-4935 携帯. 090-6786-3184 E-mail: mr_yamauchi_namiokaokada@y5.dion.ne.jp